



2026年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年8月13日

上場会社名 株式会社ミライロ 上場取引所 東
コード番号 335A URL <https://www.mirairo.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 垣内 俊哉
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 コーポレート部長 (氏名) 梶尾 武志 TEL 06 (6195) 7853
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年9月期第3四半期の業績(2025年10月1日～2026年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期第3四半期	606	△3.8	70	△35.9	71	△18.3	49	△7.5
2025年9月期第3四半期	630	—	110	—	87	—	53	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期第3四半期	4.46	4.41
2025年9月期第3四半期	6.46	5.27

- (注) 1. 当社は、2024年9月期第3四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2025年9月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。
2. 当社は、2024年11月8日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。2025年9月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。
3. 当社は、2025年3月24日に東京証券取引所グロース市場に上場したため、2025年9月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から2025年9月期第3四半期の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年9月期第3四半期	1,185	931	78.5
2025年9月期	1,171	881	75.2

(参考) 自己資本 2026年9月期第3四半期 930百万円 2025年9月期 881百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年9月期	—	0.00	—		
2026年9月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年9月期の業績予想（2025年10月1日～2026年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	810	△2.7	90	△36.7	90	△26.8	60	△26.4	5.44

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有
通期業績予想の修正については、本日（2026年8月13日）公表しました「2026年9月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年9月期3Q	11,021,300株	2025年9月期	11,020,100株
② 期末自己株式数	2026年9月期3Q	－株	2025年9月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年9月期3Q	11,020,641株	2025年9月期3Q	8,240,795株

（注）当社は、2024年11月8日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。2025年9月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期中平均株式数（四半期累計）」を算定しております。

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(セグメント情報等)	5
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	5
(収益認識関係)	5
(1株当たり情報)	6

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において判断したものであります。

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調にあるものの、世界経済においては中東情勢の緊迫化がなお継続する中でのエネルギー・原材料価格の高騰に加え、米国における通商政策の転換リスクや、国内政治の枠組み変化に伴う政策の流動化など、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社は「バリアバリュー」を企業理念とし、障害(バリア)を価値(バリュー)に変えることで社会を変革することを目指し、デジタル障害者手帳「ミライロID」によるインフラの提供、企業・団体・行政へのバリアバリューソリューションの提供を軸に、障害者が社会経済活動へ参加するための事業を展開しております。

2019年7月にリリースした「ミライロID」は、当第3四半期会計期間末現在で導入事業者数4,298事業者(前事業年度末より84事業者増加)、ユーザー数65.5万人(同10.3万人増加)、月間アクティブユーザー数21.7万人(同0.9万人増加)と、着実に拡大が続いております。また、国土交通省が推進する「地域交通DXプロジェクト COMmmONS」における鉄道助成申請の標準化調査業務への参画や、xID株式会社との包括的業務提携による行政通知サービスの共同開発など、行政領域における取り組みを推進いたしました。

バリアバリューソリューションにおきましては、「ユニバーサルマナー検定(雇用)」の提供を開始するなど、法定雇用率の引き上げに伴う企業のニーズに即したプログラムの提供を開始しました。また、新規事業として、障害者向けの転職・就職支援と企業向けの障害者雇用コンサルティングを一体的に提供する「ミライロ・キャリア」の展開を開始し、障害者の就労機会の創出と企業の雇用支援の両面から事業領域の拡大を図っております。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は606,231千円(前年同期比3.8%減)となりました。利益面におきましては、「ミライロ・キャリア」の展開及びユニバーサルマナーの新規コンテンツの開発に必要な体制強化に伴う人件費の増加等により販売費及び一般管理費が増加し、営業利益は70,666千円(同35.9%減)、経常利益は71,082千円(同18.3%減)、四半期純利益は49,204千円(同7.5%減)と減収減益となりました。これらの取り組みは、中長期的な事業基盤の拡充及び収益機会の創出につながるものと考えております。

なお、当社は、バリアバリュー事業の単一セグメントであるため、セグメントの記載は省略しております。

（2）当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第3四半期会計期間末における流動資産は1,038,406千円となり、前事業年度末に比べ12,927千円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が21,273千円、契約資産が10,571千円それぞれ増加し、売掛金が14,662千円、「その他」に含まれる未収入金が3,808千円それぞれ減少したことによるものであります。固定資産は147,363千円となり、前事業年度末に比べ863千円増加いたしました。これは主に、ミライロID等のシステム開発によりソフトウェアが14,058千円増加し、繰延税金資産が12,472千円減少したことによるものであります。

この結果、資産合計は1,185,770千円となり、前事業年度末に比べて13,791千円増加いたしました。

（負債）

当第3四半期会計期間末における流動負債は213,621千円となり、前事業年度末に比べ24,371千円減少いたしました。これは主に、未払法人税等が23,695千円、「その他」に含まれる未払費用が13,653千円それぞれ減少し、賞与引当金が6,797千円、「その他」に含まれる未払金が5,631千円それぞれ増加したことによるものであります。固定負債は41,003千円となり、前事業年度末に比べ11,060千円減少いたしました。これは主に、長期借入金が約定返済により11,061千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は254,624千円となり、前事業年度末に比べて35,431千円減少いたしました。

（純資産）

当第3四半期会計期間末の純資産は931,146千円となり、前事業年度末に比べ49,223千円増加いたしました。これは主に、四半期純利益の計上に伴い利益剰余金が49,204千円増加したことによるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年9月期の業績予想については、前回予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（2026年8月13日）公表しました「2026年9月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年9月30日)	当第3四半期会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	904,017	925,291
売掛金	97,947	83,284
契約資産	—	10,571
仕掛品	1,916	1,557
貯蔵品	2,306	2,334
その他	19,291	15,367
流動資産合計	1,025,478	1,038,406
固定資産		
有形固定資産	7,971	7,675
無形固定資産		
ソフトウェア	71,710	85,769
その他	16,886	17,432
無形固定資産合計	88,597	103,201
投資その他の資産		
繰延税金資産	35,378	22,905
その他	14,552	13,581
投資その他の資産合計	49,931	36,487
固定資産合計	146,500	147,363
資産合計	1,171,979	1,185,770
負債の部		
流動負債		
買掛金	11,060	11,818
短期借入金	95,000	95,000
1年内返済予定の長期借入金	14,748	14,748
預り金	3,517	3,511
未払法人税等	25,963	2,268
賞与引当金	—	6,797
その他	87,702	79,477
流動負債合計	237,992	213,621
固定負債		
長期借入金	51,278	40,217
資産除去債務	785	786
固定負債合計	52,063	41,003
負債合計	290,056	254,624
純資産の部		
株主資本		
資本金	312,328	312,338
資本剰余金	302,328	302,338
利益剰余金	267,114	316,318
株主資本合計	881,771	930,994
新株予約権	151	151
純資産合計	881,923	931,146
負債純資産合計	1,171,979	1,185,770

（2）四半期損益計算書

（単位：千円）

	前第3四半期累計期間 （自 2024年10月1日 至 2025年6月30日）	当第3四半期累計期間 （自 2025年10月1日 至 2026年6月30日）
売上高	630,334	606,231
売上原価	210,775	224,052
売上総利益	419,559	382,179
販売費及び一般管理費	309,378	311,512
営業利益	110,180	70,666
営業外収益		
受取利息	210	1,243
助成金収入	756	504
その他	568	406
営業外収益合計	1,535	2,154
営業外費用		
支払利息	2,360	1,727
株式交付費	7,518	—
上場関連費用	13,074	—
その他	1,726	10
営業外費用合計	24,679	1,738
経常利益	87,036	71,082
税引前四半期純利益	87,036	71,082
法人税、住民税及び事業税	14,567	9,405
法人税等調整額	19,252	12,472
法人税等合計	33,820	21,878
四半期純利益	53,216	49,204

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、バリアバリュー事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）及び敷金償却は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自2024年10月1日 至2025年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自2025年10月1日 至2026年6月30日)
減価償却費	22,111千円	26,237千円
敷金償却	485千円	485千円

(収益認識関係)

当社は、バリアバリュー事業の単一セグメントであり、顧客との契約から生じる収益を、サービス別及び収益認識の時期別に分解した情報は、以下のとおりであります。

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2024年10月1日 至2025年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自2025年10月1日 至2026年6月30日)
サービス別		
ミライロIDソリューション	199,603	205,708
ユニバーサルマナー研修及び検定	284,331	257,141
コミュニケーションサポート	146,400	143,381
顧客との契約から生じる収益	630,334	606,231
外部顧客への売上高	630,334	606,231
収益認識の時期別		
一時点で移転される財又はサービス	572,040	526,792
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	58,294	79,439
顧客との契約から生じる収益	630,334	606,231
外部顧客への売上高	630,334	606,231

（1株当たり情報）

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自2024年10月1日 至2025年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自2025年10月1日 至2026年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益	6円46銭	4円46銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益(千円)	53,216	49,204
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益(千円)	53,216	49,204
普通株式の期中平均株式数(株)	8,240,795	11,020,641
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	5円27銭	4円41銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	1,861,727	146,572
(うち新株予約権(株))	(1,861,727)	(146,572)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前事業年度末から重要な変動があったものの概要	—	—

- (注) 1. 当社は、2024年11月8日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。
2. 当社は、2025年3月24日に東京証券取引所グロース市場に上場したため、前第3四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から前第3四半期会計期間の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。